

## 令和5年度 第2回学校運営協議会【会議録】

1 開催日時 令和6年2月9日（金）15：00～16：00

2 会 場 盛岡第四高校会議室

3 出席者 13名（欠席2名）

《学校運営協議会委員》

遠藤可奈子様、（坂本理様）、米慎司様、及川美奈子様、山本誠様、菅原まゆみ様、赤澤徳俊様

《本校》

校長：上柿剛、副校長：大石敦子、副校長：千葉浩、事務長：浅沼佳子、総務主任：桜庭隆夫、

教務主任：渡邊健、（生徒指導主事：松田光弘）、進路指導主事：伊藤仁士

4 会議録

(1) 校長挨拶

○ 今年度の活動について

- ・ コロナ感染症5類移行にともない行事はコロナ禍前同様に実施。野球応援、文化祭、八重山相互交流（派遣13名、受入14名）・八重山報告会など。
- ・ 全国大会出場 文化部：音楽・美術・書道・バトン・囲碁、運動部：陸上・テニス
- ・ 進路状況 90名ほどが推薦等で進路決定。2.25前期試験に向け150名ほどが出願。
- ・ 新たな試みとして「服装を考える週間」2回実施。生徒・教員によるワーキンググループを立ち上げ服装の在り方について検討を進めている。
- ・ 生徒の生活について。弁当業者2社が昼休みに販売。下宿生11名（1軒今春廃業予定）。
- ・ 生徒異動について。不登校傾向の生徒が複数名いる。
- ・ 60周年記念事業準備が進んでいる。記念式典10月19日（土）実施予定。

(2) 出席者自己紹介（紙面にて確認）

(3) 学校概況等報告（資料説明）【副校長・各課長】

○ 第1回学校運営協議会記録

○ スクール・ポリシー

○ 令和5年度学校経営計画及び達成指標状況

○ 第2回学校評価集計分析結果

○ 各課重点目標

- ・ 《資料の訂正》生徒指導：4(1)呼びかけを行い、参加状況は良好である。

#### (4) 各分掌への質疑応答等

- ・ 生徒は帰宅時間も遅く家庭での時間が取れないと思うが、家庭学習時間 2 時間以上を課しているのか。→学校での休み時間も含めて課題等に取り組む目安として時間を示している。
- ・ 進路決定者は卒業までどのように過ごすのか。→希望講座受講により学力向上の機会を用意している。大学の課題等に取り組んでいる。感染症対策で自宅学習も可としている。
- ・ 今秋、校務支援システムを中学校でも取り入れる。小中高のつながりを持てればと考えている。
- ・ スクリーン・プロジェクターの設置はどうなっているか。→各教室に据え付けとなっている。

#### (5) 意見聴取・ご提言

##### 《A 委員》

- ・ 四高らしさ・良さを継続しつつ、新しい流れにも対応していると感じた。生徒が自分の意思で行うよう講じており、部活動・進路などでの成果にもつながっている。
- ・ 様々な面で検証し次年度のより良い実践につなげてほしい。進路結果で希望講座制にしたことが功を奏しているのか、他の要素なのかなど。
- ・ 八重山交流が復活し成果を上げているとのこと。一方でコロナ禍前同様のおもてなし交流であれば労力がかかると思う。コストやその効果など検証が必要な時期ではないだろうか。
- ・ 生徒指導「職員室入室時女子の袖ボタン着用」。女子に対してだけ指導では納得感が得られないのではないか。服装について考える機会としてほしい。

##### 《B 委員》

- ・ 学校評価において満足感について 90%以上が肯定的評価というのが素晴らしい。いろいろな取組が功を奏しているのだと思う。
- ・ P8 の分析結果で生徒・保護者とも第 1 回との比較で大半が第 2 回で評価が上がっている。「学習と部活動との両立」1 項目が減少している。検証がよりよくしていくことにつながる。
- ・ R7 入試が変わる。アドミッションポリシーを理解しないまま入学している生徒もいる。体験入学等で具体的に知る機会があるとよい。
- ・ コロナ禍後、深夜徘徊や家出といった事案が増えてきている。SNS 等を介しての中高生のつながりも心配される。情報を共有していく必要がある。

##### 《C 委員》

- ・ 会に何回か参加させていただく中で自分自身の成長につながっている。
- ・ コロナ禍後、飲食店で中高生を見かける機会が増えた。子供たちは成長過程。その時間に何かできればよいのではないだろうか。

#### 《D 委員》

- ・先生方の自己評価が厳しくなるのは仕方のないことだろうが、各分掌の反省などをみて先生方の取組は評価に値すると思う。先生方は生徒に寄り添い、知恵を出し合い運営に努力していると感じた。
- ・出張で全国を回るが、盛岡の子どもたちは他県に比べまじめな子が多いと思う。真面目な地域で、あまり不安を持たないが、SNS 等注視しなくてはいけないこともある。
- ・これからも生徒の能力を引き出すよう先生方に頑張ってもらいたい。

#### 《E 委員》

- ・学校評価で「進路情報の家庭への提供」について。保護者から生徒に問いかけてほしいとのコメントがあるが、生徒から自分の進路について保護者に伝えるよう学校からも働きかけてほしい。
- ・八重山交流について。コロナ禍でのオンライン交流の経験もある。限られた生徒だけでなく学年全体の交流も検討してよいのではないか。
- ・「学校へ行こう週間」など地域の方に学校を知ってもらう機会はあったほうが良い。

#### 《F 委員》

- ・商工会議所主催「高校生サミット」での盛岡市立高校の提案。市内の生徒会が集まって中学生への説明会を実施し、生徒が自分達の言葉でアドミッションポリシーを伝える。自らやりたいことを口に出して行動するのを目の当たりにして驚いた。
- ・家庭学習時間や両立に関して高い評価が出ないことに学校も頭を悩ませている。高校生活を経験した3年生に話してもらうことはどうだろうか。学習方法やスマホとの付き合い方など。自治体でメンター制度を取り入れているところもある。
- ・某私立高校を見学する機会があった。職員室がフリーアドレス。教室の廊下の壁がない。ジェンダーレストイレ。先生と生徒が話し合っるとともに学校を創っていくことを実践している。選ばれる学校である四高も次年度以降取り組んでみてはどうだろうか。

#### (6) その他・連絡

- ・学校運営協議会委員の任期は1年。新年度委員については改めて連絡する。
- ・第1回は6月13日（木）予定している。